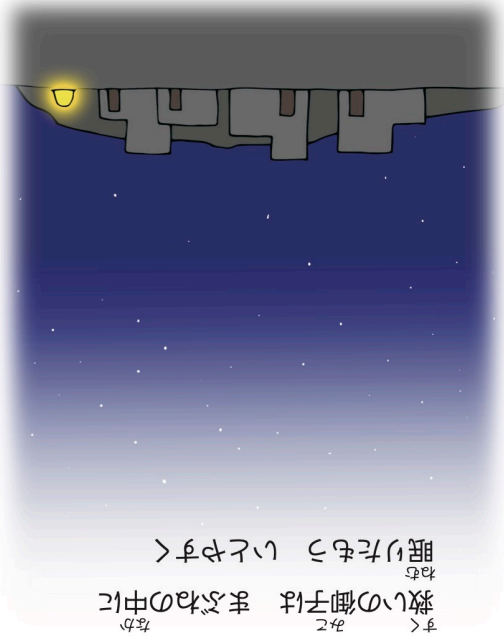
きよしこのよる

- きょうダビデのまちで -

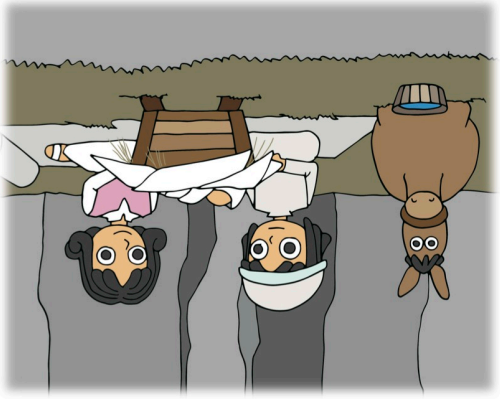


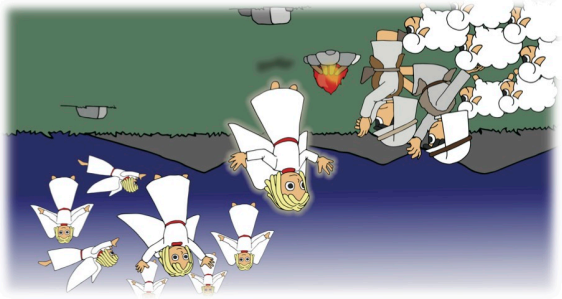




きよしこの夜　星は光
救いの御子は　まぶねの中に
眠りたもう　いとやすく

星の輝く　きよしの夜に、神様が私たちに
贈ってくださった救い主、イエス様が
お生まれになりました。どうぶつの
えさを入れる飼い葉桶ですやすやと眠
っています。





きよしこの夜　かづけうけし
まき人たちは　御子のみ前に
ぬかずきぬ　かしこみて

天使が羊飼いに教えてくれました。
知らせを聞いた羊飼いは、急いで



イエス様のところへ行って、ていねい
におじぎをしてイエス様を礼拝しました。
羊飼いたちは、イエス様に会えたことが
うれしくて、賛美しながら帰りました。

イエス様は、私たちを救うために人となってくださいました。私たちがイエス様のように正しいこと、美しいことに心を向けて生きるためです。そんな素晴らしい毎日が送れるようにきてくださいました。「きよしこの夜」という歌は、1818年のクリスマスの夜に、初めて歌われました。それから今日まで、世界中で歌い続けています。クリスマスは、神様から私たちに、イエス様という素晴らしい贈り物をいただいた日です。

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」　ルカ 2:11

イエス様といっしょに生きる平和な、恵みに満ちた世界が始まります。イエス様の優しい笑顔は、神様が私たちを愛してくださっていることを教えてくれます。

きよしこの夜　御子の笑みに
めぐみの御代の　あしたの光
かがやけり　ほがらかに

